

市区町村名	徳島県 <small>みよし</small> 三好市	担当部署	地方創生推進課
		電話番号	0883-72-7607

## 1 取組事例名

三好市版廃校活用の取組～廃校に見出す地域活性化策

## 2 取組期間

平成 24 年度～（継続中）

## 3 取組概要

市内に多く点在する廃校舎を民間事業者等に無償貸付することで、市有財産の有効活用及び地域の活性化を図っている。令和 2 年 7 月現在休廃校 28 校中 11 校で 11 事業者が活用中。

## 4 背景・目的

（背景）

過疎化・少子化による休校の増加、それに伴う地域活動の低下が顕著になってきたことを踏まえ、平成 22 年当時の市長のマニフェストに休廃校の活用の推進が掲げられ、取り組みがスタート。

（目的）

地域資源である休廃校を活用し、雇用の創出や地域の活性化を目的とする。

## 5 取組の具体的内容

（経緯）

平成 22 年度 市長のマニフェストに休廃校の活用推進が掲げられる

平成 24 年度 ・休廃校活用事業推進のための職員 1 名が担当課に増員

・市議会市有財産活用調査特別委員会が設置され休廃校の活用も審議

・三好市休廃校等施設活用推進委員会設置（庁内組織：副市長・部長級で組織）

・三好市休廃校等の活用に関する基本方針・募集要項策定

・第 1 次募集開始（平成 25 年 3 月 21 日）

・平成 24 年度休廃校数 28 校（休校 17 校、廃校 11 校）のうち行政活用校 5 校、老朽化による活用不可 1 校を除く、22 校を活用募集校とする。

令和元年度 ・第 14 次募集（令和 2 年 1 月）

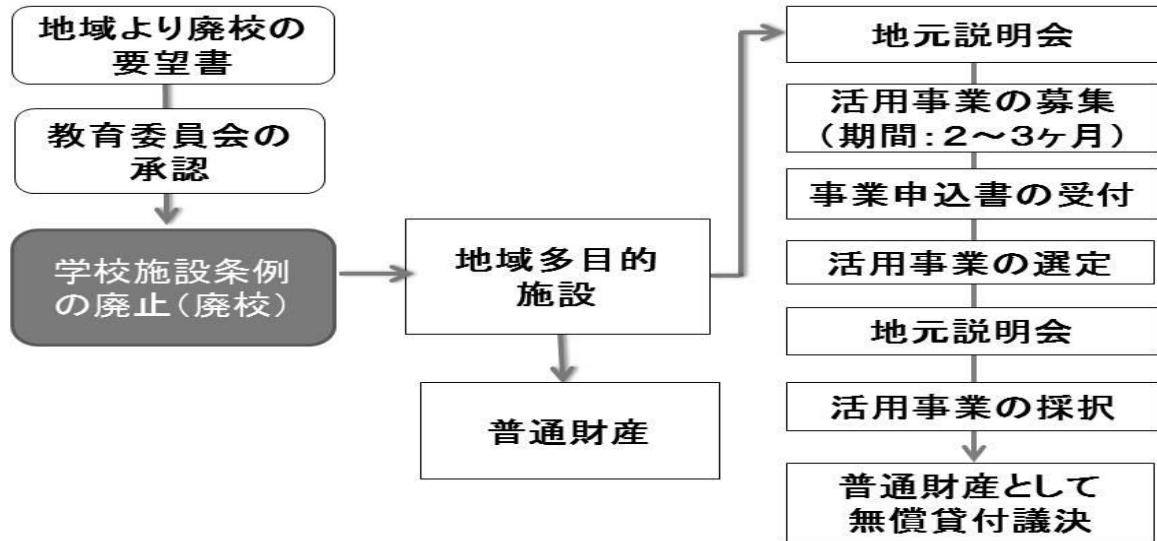
（応募件数・採択件数等）

第 1～14 次募集 応募件数 22 件・採択件数 13 件・撤退件数 2 件

（活用主体募集の取組）

市ホームページや「文科省廃校プロジェクト」への掲載、視察ツアー（サテライトオフィス誘致事業）の受入を行いながら広く公募を行っている。

(手続きフロー)



(活用校一覧)

令和2年7月1日現在

	施設名	事業者	活用事業内容	雇用人数
1	旧太刀野山小学校	県内の株式会社	デイサービス、介護予防事業等	9
2	旧西宇小学校	市内の社会福祉法人	介護予防事業、サロン	0 *社福併設
3	旧西山小学校	県内の団体	デイサービス、介護予防事業等	7
4	旧河内小学校	県外の株式会社	柚子、菓子、ジャム加工	5
5	旧佐野小学校	県外の株式会社	物流センター	1
6	旧有瀬小学校	市内の団体	食品加工・民泊	11 (会員数)
7	旧出合小学校	県外の株式会社	デザイン事務所、カフェ	6
8	旧野呂内小学校	市内の団体	乾燥野菜加工施設	22 (会員数)
9	旧馬場小学校	市内の一般社団法人	スクールコテージ・ラボ	2
10	旧落合小学校	市内の団体	雑穀を使用した菓子の製造	14 (会員数)
11	旧大和小学校	県外の有限会社	アートプリント工場	2
計				79

(事例紹介)

【有瀬小学校 民泊・食品加工施設】



## 【出合小学校 デザイン事務所、カフェ】



### 6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- ・活用主体の公募（HP等の活用や視察ツアーの受入等により広く公募を行っている）
- ・無償貸付
- ・地域への配慮（各小学校区での意見交換会や活用前後の説明会を実施し、採択は地域の意見を重視）
- ・市内組織の横連携（企業誘致担当の商工政策課と連携して進めている）

### 7 取組の効果・費用

- ・雇用創出・人口増（移住者）
- ・維持管理費用の負担減（管理費、光熱水費等）
- ・施設の長寿命化
- ・地域コミュニティの維持や活性化

### 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

今後は、施設の老朽化が進むことによる市の財政負担の増大が懸念される。

### 9 今後の予定・構想

それぞれの休廃校の実情を踏まえて、公共施設等総合管理計画策定等により、活用の方向性ごとに整理する。老朽化の進んだ施設については、廃止の検討をする等し、活用推進校とは区別する。

### 10 他団体へのアドバイス

休廃校により地域の衰退が懸念される中、民間事業者等に広く活用の門戸を広げることで地域の活性化をはかる。活用にあたっては地域住民との協議を十分に行うことで、住民を巻き込んだ新たな拠点づくりを目指している。

### 11 取組について記載したホームページ

なし